| 主な事業概要

① 県産品販売促進事業

埼玉を代表する物産を常時650種類以上取扱う埼玉県物産観光館「そぴあ」、JR大宮駅での埼玉県物産観光展などを始め各種イベント開催による販売、また県内GMS・SM・観光スポットへの県産品卸売、販売促進を行っています。





②県内旅行推進事業

本県の魅力ある観光地を多くの人に楽しんでいただくため、会員の皆様のご協力を得ながら、誘客に取り組んでいます。アフターコロナでの安心・安全な体験型プログラムの造成により、これまで気付かなかった新しい観光スタイルのブランディングを目指しています。



③彩の国DMO事業※

意欲のある会員の皆様とともに地域のブランディングを進めるとともに、物産観光に携わる人材の育成や、観光情報の一元化による効果的な観光情報の発信を行い、稼げる観光地域づくりをエリアと共に進めています。「埼玉を好きになり繰り返し訪れたくなる」ような長期ビジョンと戦略の設定、マーケティング調査や検証を埼玉県や市町村に加え、企業や県民とともに、ワンチームで取り組んでいます。







☆ご入会のメリット

- 1) 店舗やECサイトでの優先販売、PR・ブランディングの支援
- 2) 物産観光展において優先出展可能、ビジネス機会の提供(出展イベント年間30回)
- 3) 会員同士の連携支援・交流促進
- 4)情報誌『ちょこたび埼玉』(発行部数50,000部、年2回発行)において新規会員紹介
- 5) 当協会主催ツアーにおいて新規会員とともに造成、送客を実施
 - **一入会のお問合せは協会までご連絡ください一**

一般社団法人埼玉県物産観光協会

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル5 F

TEL 048-647-4033 URL https://chocotabi-saitama.jp/



入会案内



一般社団法人埼玉県物産観光協会

埼玉県物産観光協会とは

当協会は、埼玉県産品のPRや販路拡大を行うとともに、稼ぐ観光地域づくりを進め、本県の物産観光の振興を図ることで、地域経済の発展と県民生活の向上に寄与することを目的に活動しています。

Mission

誇れる埼玉を会員企業・団体とともにつくる

『ご挨拶

当協会は埼玉県の物産や観光が持つ可能性を発見し、そのすばらしさを発信することにより、地域経済の持続的な発展と地域社会の育成に貢献してまいりました。

しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大により、 県内の物産観光産業は大きな打撃を受け、私たちの生活 様式は大きな変化を求められています。

当協会は、新しい観光スタイルの導入を進めるなど、 今回の危機をチャンスとすべく、会員の皆様とともに本 県の物産観光産業の活性化を目指してまいります。



_{会長} 松本 邦義

■理念

- ・我々は人と環境にやさしい姿勢で、優れた製品・観光・ サービスを提供し発展していく事をめざします
- ・SAITAMA STYLEを県内に広げ、情報発信することにより 埼玉県のブランドイメージを高めます
- ・公平公正な独立組織として、公益性と収益性のバランスが 取れた事業運営をめざします

▮沿革

昭和26年 埼玉県観光連盟発足(273名) 昭和35年 埼玉県貿易協会発足(107社) 昭和63年 物産観光館「そぴあ」開店

平成 4年 埼玉県物産振興協会、埼玉県観光連盟が社団法人化

平成21年 埼玉県観光連盟と埼玉県物産振興協会が合併して埼玉県物産観光協会となる 平成25年 公益法人改革により一般社団法人を選択し一般社団法人埼玉県物産観光協会

に改称する

平成30年 旅行業第2種として埼玉県知事に登録される

観光地域づくり法人(DMO)として観光庁長官に登録される

▋協会概要

名 称 一般社団法人埼玉県物産観光協会

所在地 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル5F

設 立 平成4年6月23日

会員数 619名(令和2年3月31日現在)

職員数 17人(令和2年4月1日現在、パートを除く)

■ 役員

役職名	氏名	所属役職名
名誉会長	大 野 元 裕	埼玉県知事
会長	松本邦義	松本米穀精麦㈱代表取締役社長
副会長	新井理夫	㈱アライヘルメット代表取締役
副会長	齊之平 伸 一	三州製菓㈱代表取締役社長
副会長	弓削多 洋 一	弓削多醤油㈱代表取締役
副会長	鈴 木 英 秀	妻沼聖天山歓喜院副院主
副会長	朝霧重治	㈱協同商事代表取締役社長
副会長	坂 本 昌 己	秩父鉄道㈱取締役執行役員企画部長
専務理事	櫻井正道	(一社)埼玉県物産観光協会専務理事

(令和2年6月11日現在)